

## 平成30年度第5回9月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成30年9月6日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名  
出席委員4名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子
	委員	古口 悟

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久
	報道制作部	加藤拓也

### 4. 議 題

(1) 「ど〜も、嶋均三です」について

毎週木曜 9:00~12:55

平成30年8月2日(木)~8月23日(木)放送分(抜粋)

報道制作部 加藤拓也

(2) その他

## 5. 議事内容

### (1) 「ど～も、嶋均三です」について

試聴番組：8月2日(木)～8月23日(木)に放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局加藤が番組の企画・制作内容について説明した。

嶋均三さんの魅力が詰まった番組。昭和歌謡や川柳など嶋均三の個性が出たコーナーや赤崎アナとの息の合ったトークも魅力など番組コンセプトを説明して審議に入る。

各委員からは、

- 嶋さんのごじゃっペトークが炸裂していてとても楽しく聴いた。季節感に溢れていて「ながら聴き」するにはちょうど良かった。夕立・雷様（らいさま）の話は子供時代の情景を彷彿させる懐かしいエピソードが印象的だった。赤崎さんは嶋さんのごじゃっペトークを上手に受け止めてスマートに進行させていて安心感を持って聴くことが出来た。嶋さんのアクの強い栃木弁は後世に残すべき貴重な財産と思う。
- 他県ではまねのできない番組。赤崎アナとのセットはとても良く、コントラストが面白い。「旅いくけ」のコーナーについて、他県との方言対決を聴いてみたい。栃木の方言を使って各地を紹介してみても楽しいかもしれない。川柳のコーナーでは赤崎さんの川柳も聴いてみたい。
- 嶋さんの話を聴いていると子供のころに体験したことがよみがえるようで、嶋均三ワールドに引き込まれる。改めて当たり前の言葉・方言を紹介してほしい。旅のコーナーについてはその土地の方言を取り上げていて良い。言葉や訛りは県の宝で、もっと他県に広げてもらえると良い。
- 地方局として文句のない番組。嶋さんの良さは言葉あってこそで、その良さを発揮できている。他県の方がどのように感じているかを知りたい。内容はタイミングが良く、2人の掛け合いも良い。栃木弁は県北のイメージがあり、県南の方言をもっと活用できると良い。
- 今回出てきていない方言をもっと聞きたい。次のものを準備しているようで途中でつかえるところが気になった。川柳はもっと上手だと良い。赤崎さんの川柳も聴きたい。全体的に遠い記憶を迫体験できるいい番組。
- 毎日、栃木弁が出てくるような番組があるといい。嶋さんに続くパーソナリティーを育てることも必要。方言でニュースを放送してみると面白い。
- 昔を思い出すいい番組だった。地元のオリジナリティを出していて良い。ぜひ続けてほしい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」  
(平成30年9月16日(日) 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載(平成30年10月1日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き(平成30年10月1日～)

以上